

# 未来に残したいまちの魅力

今月の特集は「遠賀郡・中間市フォトコンテスト」。未来に残したいまちの魅力をテーマに、この地域に暮らす皆さんから写真を募集しました。入選作品15点を紹介しながら、それぞれのまちの魅力に迫ります。

## 見慣れたまちの「魅力」

岡垣町・芦屋町・遠賀町・水巻町・中間市——。北九州市と福岡市の間位置し、海、山、川などの豊かな自然に囲まれ、多くの歴史を持つこの地域の魅力を、皆さんはどれだけ知っていますか。風景やモノは、毎日見ていると変化を感じづらいものです。旅先の風景は写真に撮っても、見慣れたまちの風景を撮って残す人は少ないのではないのでしょうか。同じようにこの地域でも、地元の人に とっては当たり前のもので、そのまちを訪れた人には魅力的に映ることがきつとあるはず

です。

また一方で、地元の人だからこそ知る昔ながらの伝統や風景、人の温かさなど、後世に残したいものや、ほかのまちに自慢したいものもあるでしょう。

こうした魅力を掘り起こすため、自分が住んでいるまちに限らず、この地域で撮った写真を募集しました。

## 応募作品は1%点

平成29年9月15日～11月10日の約2カ月にわたる募集期間には、計1%点の作品が寄せられました。まちの垣根を越えて募集したことで、さまざまな視点で撮影された「1枚」

が集まりました。特に多く寄せられたのは、美しい自然や季節を感じられる作品です。

## 最終選考者はプロカメラマン

応募作品の中から上位15点を厳選したのは、芦屋町で地域おこし協力隊を務めるプロカメラマンの長島毅さん。数多くの作品に触れて培われた感性で審査し、そのまちの魅力が伝わる作品を選んでもらいました。

次のページからは、それぞれのまちで撮影された入選作品を長島さんの講評とともに紹介します。これを機会に皆さんも地域の魅力を見つめ直しませんか。

### 特別審査員

ながしま つよし  
**長島 毅さん**

(プロカメラマン・芦屋町地域おこし協力隊)

ファッション誌のカメラマンとして活躍するほか、ドラマ「ドクターX3～外科医大門未知子～」や映画「ヒメアノール」など数多くの作品にオフィシャルスチールカメラマンとして関わっている。

平成28年、東京都から芦屋町に移住。現在は地域おこし協力隊として映画の誘致や写真を通じた地域活動を行っている。





特集

未来に残したいまちの魅力

## 最優秀賞

### ちょっと早めの夏少女

堤隆博さん

(中間市在勤・43歳)

場所：波津海水浴場

【講評】水面のかけ・人物・テトラポットの3分割の割合がGOOD！靴を持ってカメラを見る最高の笑顔も◎。親子の愛が感じられる。逆光で海が白く写るのもこの場合はOK。文句なしの一枚です。



岡垣町



### パパと手をつないで

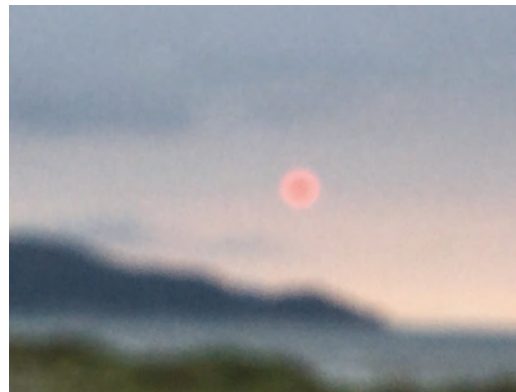
坂本美紀さん(遠賀町在住・30歳)  
場所：波津海水浴場

【講評】順光でおさえることで空の青、海の青が美しく出ている。広角で撮って大胆に空を写しているところもGOOD！夏らしさがすごく伝わり、今すぐにでも海に行きたくなるような一枚。

### 岡垣シンボルマーク3色

宮本和敏さん(岡垣町在住・66歳)

場所：汐入川付近



【講評】景色に町のシンボルマークを思い浮かべたアイデアが面白い。あえてぼかすことで、水墨画のように見えてGOOD！地元愛がすごく伝わる一枚。

入選作品



## 最優秀賞 桜の小径

於田一憲さん (芦屋町在住・50 歳)  
場所：第二緑ヶ丘団地

【講評】春の柔らかい光の中に背中越しの人物を入れることによって、日常の平凡なワンシーンもドラマチックに変わる。光を取り込んでソフト効果にしたところも◎。真ん中よりも下に人、上に桜を配置することで写真全体に広がりが出ている。季節感がとても伝わる一枚。

芦屋町

## 海鏡

入江将安さん (芦屋町在住・19 歳)  
場所：狩尾岬近くの海



【講評】逆光で人物をシルエットにしている。オレンジ色の夕日と黒色のシルエットの構図で色の対比がすばらしい一枚。スマートフォンでチャレンジしたところもGOOD!



ちびっ子カメラマン  
半田尚未さん (遠賀町在住・36 歳)  
場所：芦屋競艇場

【講評】広い青空の中の個性的なスモークが、インパクトがあって目を引く。手前に写した子どもの背中からでも表情が伝わってくる一枚。親子愛が感じられる。もっとローアングルで撮り、アスファルトの部分を減らすとさらに GOOD!

入選作品



最優秀賞

## 水墨プラットフォーム

高大貴さん (遠賀町在住・23 歳)  
場所：遠賀川駅

【講評】光と影の使い方が GOOD！白と黒のコントラストがノスタルジックな雰囲気をかもし出している。朝日の逆光を使うことでできた影の長さが印象的。ホームに立つ人の姿からいろいろなことが想像できる。まるで映画のワンシーンのような一枚。

## 夕暮れ

立野香子さん (遠賀町在住・41 歳)  
場所：遠賀総合運動公園



【講評】おもしろい形の雲を使って画面を大胆に2分割しているところが GOOD！個性的な雲と重なったバレーボールに躍動感を感じられる一枚。子どもたちの楽しそうな姿に家族の温かさを感じる。



やさしい光につつまれて  
入選作品  
守田泰造さん (岡垣町在住・42 歳)  
場所：ふれあいの里

【講評】暗いシーンをスローで撮ってオレンジ色が増し、母娘のやさしい雰囲気が伝わる一枚。母の右手に力がこもっているところにも親子愛を感じる。また、人物を暗めにおさえることでろうそくの光が生かされている。



## 最優秀賞

### 秋桜

安永梨沙さん（遠賀町在住・35歳）  
場所：遠賀川河川敷（猪熊）

【講評】被写体の少女を画面いっぱいに入れた構図がGOOD！満面の笑みに引き込まれてしまった。人物を中央ではなく少しずらすことでコスモス畑の広がりを感じる。コスモスの魅力がとても伝わる一枚。

水巻町



### 家路

佐々木幸峰さん（水巻町在住・55歳）  
場所：家の前の路地

【講評】神秘的な色をした空の色合いが面白い。暗闇の中に車のブレーキランプが赤く光っていることや、うるさくなりがちな電線も日常の一コマを演出している。神秘と日常が混ざり合っているところが面白い一枚。



### ともだち

西村政彦さん（水巻町在住・34歳）  
場所：水巻吉田保育園

【講評】2人の仲の良さがとても伝わる表情やポーズを画面いっぱいに表現した一枚。シンバルのレフ板効果も表情を生かしていてGOOD！

### 入選作品

## 最優秀賞

### 桜トンネル

古城正直さん  
(中間市在住・78歳)  
場所：JR筑豊線と垣生公園  
の間を通る坂道

【講評】奥に向って狭くなっていく放射構図で奥行きが出ているところがGOOD！奥行きのある桜のトンネルで引き締まった画になっている。トンネルの中に自転車を配置することで動きが出ているのも良い。桜が散っている瞬間を捉え、この季節にしかない、はかない雰囲気も感じられる一枚。



中間市



### 娘と鯉のぼり

岡田謙治さん(中間市在住・39歳)  
場所：遠賀川河川敷

【講評】人物の位置など構図のバランスがGOOD！望遠を使って少しうるさくなりそうな鯉のぼりをぼかしたところが◎。左手の動きにも子どもらしさを感じられる一枚。

### 遠賀橋夕景

山藤寛さん(中間市在住・61歳)  
場所：中間市役所前の遠賀橋



【講評】空・橋・水面で作られた三分割構図のバランスがGOOD！何気なく写っている自転車にも目がいく。夕焼けの時刻に帰宅の途に着く自転車からストーリーを感じる一枚。

入選作品

# インスタ映えする写真を撮ろう！

2017年のユーキャン新語・流行語大賞を受賞した「インスタ映え」。インスタグラムを含むSNSに投稿するためにさまざまな機会で写真を撮る人が増えてきました。スマートフォンのカメラが高性能になったため、いつも持ち歩いているスマートフォンで撮影する人も多いようです。そこで、スマートフォンで写真を撮るときの簡単なテクニックを長島毅さんに聞きました。

※ SNS…ソーシャル・ネットワーキング・サービスの略。人と人との社会的なつながりを維持・促進するさまざまな機能を提供する、会員制のオンラインサービス（Facebook、Twitter、Instagram など）



## おいしく見える料理の写真

### 自然光・逆光で撮る



料理は、フラッシュを使って撮ると不自然な明るさになってしまいおいしさが伝わりませんが、自然光で撮るとおいしそうに見えます。さらに料理の後ろ側から光が当たると、影ができて立体感や照りを出すことができます。また、飲み物のグラスは透き通ってきれいに写ります。

### 寄る・ずらすで想像させる

ごはん、味噌汁、おかずなど全てを写真に入れてしまいがちですが、主役を一つに絞って撮りましょう。メイン料理に寄って斜めから撮ることでインパクトが出ます。また、背景に余計なものも写らなくなります。見えないところは見る人の想像力に任せましょう。



## アングルで映える人物の写真

### ローアングルで脚長効果

旅先でも日常でも、写真には美しく写りたいものです。きれいに見える効果の一つに脚長効果があります。カメラを低い位置で構え、遠近法を使うことで、脚を長く、顔を小さく見せることができます。人物を撮るときはローアングルで撮ってみましょう。



### ハイアングルで笑顔が光る



子どもの写真を撮るときなどに、上からのアングルを意識してみましょう。表情豊かな子どもの顔に注目が集まります。大人でも目が大きく開いて、瞳がきれいに写るほか、あごのラインをシャープにする効果もあります。



## シンメトリーが映える風景写真

### 左右・上下対称で撮る

いつもの見慣れた景色の中にシンメトリーを見つけて撮ってみましょう。シンメトリーとは「対称」という意味で、左右または上下対称の構図のことです。シンメトリーを利用すると整列感や奥行きを表現することができ、印象的な写真になります。建物や橋、鳥居など人工的

に作られたものや、田んぼ、海、川の水面に写る景色に、シンメトリーが映える風景が見つけれられるでしょう。

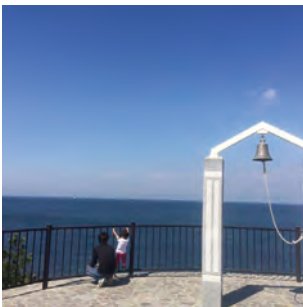
いつも歩いている道や行き慣れた図書館でも、シンメトリーを使うと特別な空間のように表現することができます。



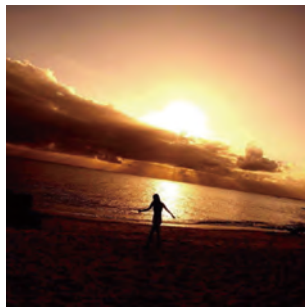
## 物語性のある写真

### 人物と風景をうまく配置する

人物と背景の配置を工夫すると、写真に物語や感情が追加されて、より深みのあるものになります。



▲後ろ姿は写真にドラマ性をもたらします。想像力をかきたてられますね



▲思い切って画面をナナメに。見慣れない構図がアクセントになります



▲背景を気にせず、一歩も二歩も寄りましょう



▲眼力が写真にパワーを与えます。あえて日の丸構図で人物を中央へ



答えがないから面白い  
今回、たくさんの方の応募があり、これだけ多くの皆さんが写真に興味を持っていてということが改めて分かりました。今やスマートフォンやSNSなどの情報ツールは皆さんの生活に深く関わっています。いつも思うのですが、写真には答えがありません。つまり正しい解も不正解も無いのです。良い悪いを追究するよりも、どこかに出かけて季節を感じたり、何気ない景色の中にすばらしさを見つけたり、撮った写真を発信したりして、楽しいフォトライフを送ってください。ただし、周りの皆さんに迷惑をかける心配りも大切にしましょう。